

平成22年から広報あいなんの「本日！海日和！！」に  
毎月寄稿している環境省国立公園指導員の西尾知照さん



愛媛CATV  
動画



プロフィール

昭和58年 初めて愛南町の海に潜る  
平成元年 旧西海町の小学校に勤務  
平成10年 環境省国立公園指導員に就任  
平成22年 愛南町の小学校に勤務し、広  
報あいなんへの寄稿を開始  
平成24年 愛南サンゴを守る会に参加

大学時代に海が好きでダイビングのサークルに入り、それから海の生き物に興味を持つようになった西尾知照さん。

西尾さんは小学校教諭を務める傍ら、環境省国立公園指導員としてボランティアで、県内の海を守る活動をしています。愛南町には、平成元年からの4年間を福浦小学校で平成22年からの3年間を旧中浦小学校で勤務していました。その間に、サンゴのことや愛南町の海の良さを知ってもらおうと仲間と一緒に海を守る活動を開始し、広報あいなんの「本日！海日和！！」への寄稿を始めました。

文章を書く上で、「小学生が読んで分かるように、季節に合った話題を探るようにしている」と内容について話します。撮影の際には、「相手が生き物なので、ポーズをしてくれるまで我慢しています」と苦労を話します。

また、印象に残っている撮影は、「ニシキテッポウエビとネジリンボウで、2匹そろっての撮影はできたが、それぞれのペアで4匹そろって撮影ができなかったことが心残り」と話し、「機会があれば、再度チャレンジしたい」と撮影に意欲を見せます。

今後について、「海日和も今月号で123回に至ったので、ネタが尽きるまで皆さんが楽しんでいただけるように寄稿していきたい」と目標を話しました。



▲海中の撮影に使う機材について説明する西尾知照さん



▲平成29年12月号に掲載したニシキテッポウエビとネジリンボウ

編集後記

町内で何かに情熱を注いでいる方を紹介する「私と〇〇」のコーナーも今月号で8回目を迎えました。今回はパッチワークが趣味の増田マサミさんを紹介しています。色とりどりの作品に囲まれて制作活動を行う増田さんにやりがいなどをお聞きしましたが、生き生きと語る姿が印象的でした。

このコーナーでは取材をさせていただける方を随時募集しています。ぜひ情報をお寄せください。◎

広報あいなんに毎月寄稿していただいて西尾知照さん取材しました。

西尾さんから「本日！海日和！！」の制作までの苦労や経緯、思い出などについて聞きました。

また、生涯学習講座の講師としてサンゴの生態や環境問題について講演されている記事や、123回を迎えた海日和も掲載していますので、ぜひご覧になってください。◎

愛南町の世帯数と人口

令和3年1月1日現在

世帯数 10,206世帯 (-14世帯)

人口 20,495人 (-43人)

男 9,703人 (-17人)

女 10,792人 (-26人)

愛南町の高齢化率 44.4%

※ ( ) 内は前月比

●10年前 同月の人口 25,335人

編集・発行